

このピラは、緑の環境を守るため再生紙を利用しています。

発行：日本共産党養老町支部 連絡先：TEL/FAX34-0062（水谷）不在の時は留守電対応にしています

養北認定子ども園「民間辞退」で臨時議会全員協議会

## 町長反省点を上げるも陳謝無く今後の方針も明確にせず

読者の皆さん。72年目の終戦記念日をどの様にお過ごしになられたのでしょうか。

養老町にも県名が実に様々な車のナンバーが走っていました。ふるさと養老に帰省した方々の目に現在のわが町は、どのように映ったのでしょうか。1300年祭のPRのぼりは、この時期に立てられたら良かったのに・・・と思いませんか。今、あの多数ののぼりは、無残な姿で役場の倉庫に山積みされています。

さて、8月16日午後1時30分から3時20分まで臨時の議会全員協議会が招集されました。

養北認定子ども園の民間辞退で議会が町長の説明責任を果たすよう申し入れたのです。

以下、町長による経過説明と議員からの質疑に対する答弁を報告します。

平成26年12月 担当課が提案

民設民営（民間が建て民間が運営）

なら国・県の補助金がある

町長は、町単独運営（公設公営：町で建て町が運営）なら国・県の補助金がないことから言葉の教室施設も民間でお願いしたいとの内容も含め公募にかけた。しかし、池辺育心会は、言葉の教室を運営するのは難しいとの回答であった。この時点で建設費が高額であるとの判明もした。（当初予算案は、4億～4億5千万円が6億に）では、言葉の教室は、町で行うのでその分を育心会で負担を願えないか。との協議を重ね、東京の福祉機構に融資の相談にも行って頂いたので了承して頂いたものと思っていた。育心会の理事の中に池辺保

育園の改修での借り入れもあり新たな負担増に反対論もあり事態となった。

町長 反省点は2点のみ

1：言葉の教室時に仕切り直し必要だった  
公募条件と違うので決断のしどころ

2：正確な契約が必要だった  
負担額の下承を得たものと町が勝手に  
思ってしまった

### 議員に喝！

### 予算を議決した責任あまりにも希薄

2017年度一般会計の中に認定子ども園整備事業費4億3500万予が計上されています。

町長の施政方針には、養北認定子ども園は、平成29年8月17日29年度中に建設し30年度開園を目指すと述べています。この予算案を水谷議員以外は、賛成しています。（水谷議員は、負担割合に納得できないと反対の理由の一つにする）

水谷議員は、「町長の責任を問うことも議員として必要だが予算を認めた議員の議決権の重みと責任を果たしてほしい。」と全く議論に参加しないだんまりの複数議員に喝を入れました。

この件で特別委員会設置を求める議員は、いませんでした。水谷議員は、池辺育心会用に作成した補助金交付要綱は、直ちに抹消するよう強く求めました。

# 明るい養老 赤旗日曜版 2017年 8月 13日 第882号

このビラは、緑の環境を守るため再生紙を利用しています。

発行：日本共産党養老町支部 連絡先：TEL/FAX34-0062（水谷）不在の時は留守電対応にしています

## 8月16日！ 緊急議会全員協議会を開催

読者の皆さん。台風5号は、全国に大きな爪痕を残しました。養老町では、避難勧告が出され池辺・養老・小畑地区など約150名の方々が各避難所に待機され、ごく一部ですが避難所で一夜を過ごされた方もありました。また、各地域で停電もあり暑さと不安の中で過ごされた方も多々ありました。一人暮らしの方から「防災ラジオで電気がいつ復旧するのか知らせてほしい。」との切実な要望が水谷議員宅に寄せられました。

水谷議員は、副町長にその声を届け、副町長は、「中電からの情報を得れば対応できるはず。」との回答でした。自然災害は、いつ起こるかわかりません。不安を解消する取り組みこそ求められます。

今回も南直江地内でポンプ車による排水作業が行われました。

職員の皆さんも不眠・不休で公務に当たりました。

### （仮）養北認定子ども園民間辞退

町長、議会への説明責任回避

議会五役会で協議し8月16日ようやく

8月8日、午後1時30分から定例の議会全員協議会が開かれました。7月7日の議会全員協議会で議会五役に付託された上記見出しの件について議長より報告がありました。

その内容は、「7月18日に議会五役が集まり協議した結果、正・副議長で町長に説明責任を果たすよう申し入れを行うこととし、8月3日松永議員も同席（松永議員は、池辺育心会から相談を受けている）し8月16日1時30分に日程の調整がついた。」とのことでした。

この件で特別委員会を立ち上げるかは、「町長の

説明を聞いた後に全員で協議したい。」とのことでした。

水谷議員は、町民の中には、「町長より議会に責任を求める声」も多々あり民間が辞退に至った究明や今後の保育行政の在り方も含め議会の責任を問う声に応えるには、「特別委員会の設置は当然である。」との見解を示しています。

斎苑横領事件の時も町民の方々から

### ケジメのある町政

#### ケジメをつける議会

の声が多々寄せられました。町民の皆さんの付託に応える議会が今度も求められています。

### 斎苑民事裁判

#### 第2回口頭弁論 9月1日

傍聴席には限りがありますが一般傍聴ができます副町長より上記の報告がありました。

### 国民健康保険税の算定誤りで税務課長陳謝

税務課長より電算会社のマニュアル不備で国民健康保険税13世帯に増額総額207万2400円の課税ミスが生じ、記者発表するとの報告がありました。水谷議員が「被保険者からの指摘で発覚したのか。」とただしたのに対し税務課長は、きっぱり否定しました。増額金額は、一世帯1万円から50万円とのことです。すみやかに該当世帯にお詫びし詳細の説明をするとのことです。